

時代区分	西 暦	年 号	月 日	事 項
近 江        戸 世	1615	元和 1		6月、築川城代須田長義卒。(大阪冬ノ陣参戦) 〔長義死後 家来争論有之二付、男相模秀満米沢江被呼返、秀満成長之間、元和元年より宝永廿年迄 三御馬廻之内秩3百石ニ而其器ニ当る者を以守衛せしめらる。……上杉文書 紹襲録〕
	1615	〃 1		6月、上杉家臣香坂太郎左衛門宗吉、築川城番を命ぜられる。香坂庄左衛門氏家、城番となる。
	1618	〃 4		西根下堰が伊達奉行石栗将監等によって開さく始められる。
	1623	〃 9		3月、上杉景勝卒し定勝つぐ。 検地
	1625	寛永 2		須田秀満天神社宮殿を改修する。 西根上堰完成する。(信達代官古河善兵衛重吉らが五十沢まで24キロをつくる。費用5万7千両) 上杉検地 ○跡部新五左衛門 城番となる。
	1633	寛永10		正月15日、山本右近広忠城番となる。 4月11日、河野孫左衛門重久城番となる。
	1636	〃 13		5月24日、伊達政宗死去。
	1639	〃 16		信達総検地
	1643	〃 20		9月18日、須田相模守秀満築川城代を命ぜられる。 同月同日、石付十兵衛則吉築川御横目を命ぜられる。 〔当役ハ寛永廿年始而命之、御中ノ間年寄秩5百石取より御撰ニ而当所之諸締方仕置場を司る重役なり。則福島奉行同様之役儀と相見ゆる他……紹襲録〕
	1645	正保 2		上杉定勝卒し綱勝つぐ。 ○この頃養蚕業おこる。 ○この頃定期市盛んとなり、築川でも四の日と九の日に真綿、絹糸など売買される。 ○富野八幡宮社内で4月1日、2日、8月15日、16日馬市開かれる。
	1658	万治 1		2月12日、上杉家臣山田修理秀久(5百石) 築川御横目を命ぜられる。 信達生糸「登世糸」といわれ、京に出される。
	1659	〃 3		上杉、信達検地
	1664	寛文 4		5月、上杉綱勝卒し嗣子なく信達両郡上地となる。 築川城代須田秀満、伊奈半左衛門に城を渡し米沢に帰る。 信達二郡、幕府代官伊奈半十郎の支配下におかれる。 (1ヶ年) 伊奈半左衛門、ついで代官となる。(5ヶ年)